

V1000インバータ & DriveWorksEZで センサレスでチップコンベヤの目詰まり検出&自動復旧運転

チップコンベヤとは

工作機などから排出された切削くず（チップ）を搬出するコンベヤです。様々なタイプがありますが、ここではコンベヤのベルトが腕時計のベルトに使っているようなヒンジ式のを事例として紹介します。ヒンジ式コンベヤはベルトがチップで痛まない特長がありますが、目詰まりしやすい難点があります。

目詰まり検出と自動復旧運転

従来のチップコンベヤは、ベルトにチップが挟まると、ロックしてしまいます。ショックリレーやトルクリミッターなどのセンサでロック状態を検出し、作業員が手動で除去指示を行うことで、機械運転を復旧させていました。

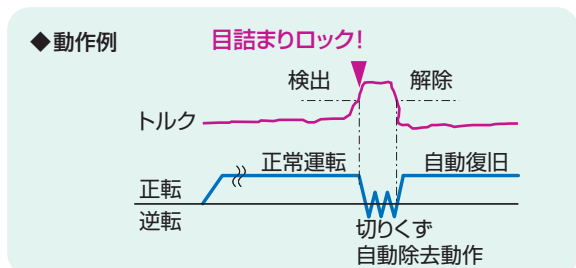
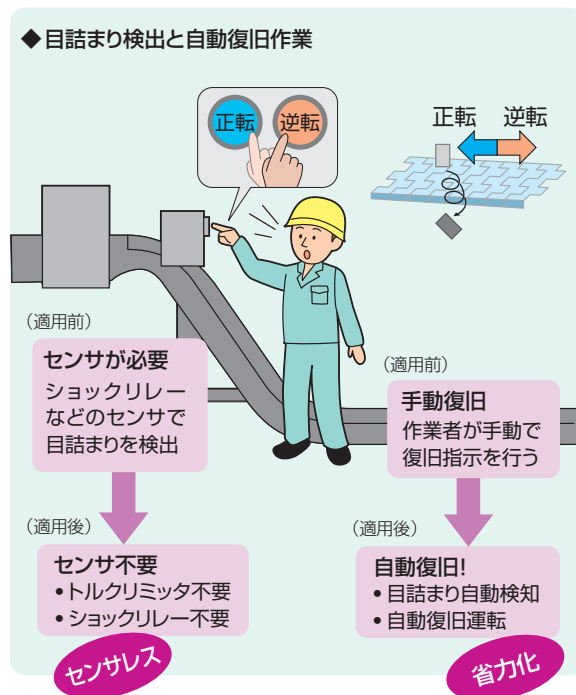
プログラミングツール「DriveWorksEZ」でカスタマイズされた安川インバータV1000を使うと、センサがなくても、ベクトル

制御によるモータトルク値を使って負荷状況を判断し、自動でチップの目詰まりを検出します。更に、「正・逆」運転を繰り返しながら除去動作と復旧運転を全自動で行うことができます。

センサレス化によって、目詰まり検出と自動復旧運転におけるコストダウンが図れるとともに、作業者の手間も省けて、省力化を実現します。



V1000



プログラミングツール「DriveWorksEZ」

「DriveWorksEZ」は、パソコンを使って簡単にインバータをカスタマイズすることができるビジュアルプログラミングツールです。上位制御回路やインバータの入出力端子と組合せることで、

外付けが必要なタイマやリレーなどの周辺機器の削減が可能です。また、特別なプログラム言語は不要で、お絵かきツール感覚でプログラミングできます。



■お問合せ先: インバータ事業部 マーケティング課 TEL 0930-25-2548 FAX 0930-25-3431